

事業番号	事務事業名	文芸選奨推進事業費	所管課名	生涯学習課	令和 3 年度課長名	黒瀬 豊
06030	政策名	3 創造豊かな教育・文化の里づくり	係名	主任	担当者・シート作成者	ソーター・クリstof
	施策名	32 生涯学習の推進	根拠法令等	鏡野町補助金交付規則		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 ) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・募集要項決定 ・審査員依頼 ・募集要項印刷 ・募集要項配布  ・作品審査 ・作品集作成 ・表彰式	平成9年度に香々美川が「岡山の清流」に選ばれ、これを機に香々美川文芸選奨を始めた。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 町内の小中学生	ア 町内の小中学生数	人	見込 実績	962 962	972 972	972 971	967	967
イ 町内の成人	イ 町内の成人数	人	見込 実績	10,800 10,844	10,800 10,573	10,800 10,461	10,800	10,800
ウ 県内の成人	ウ 県内の成人数	人	見込 実績	1,590,000 1,587,727	1,587,727 1,526,494	1,500,000 1,556,832	1,500,000	1,500,000

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 青少年が文芸に興味を持つようになる	ア 万葉のみち青少年文芸選奨の応募者数	人	目標 実績 達成率	480 521 108.5%	480 526 109.6%	480 491 102.3%	480	480
イ 町民が文芸に興味を持つようになる	イ 香々美川文芸選奨の応募者数	人	目標 実績 達成率	100 118 118.0%	100 102 102.0%	100 100 100.0%	100	100
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア 作品募集	ア 要項配布・広報回数	回	目標 実績 達成率	3 3 100.0%	3 3 100.0%	3 3 100.0%	3	3
イ 審査会	イ 審査会開催数	回	目標 実績 達成率	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2 2 100.0%	2	2
ウ 作品集作成	ウ 作品集配布冊数	冊	目標 実績 達成率	400 375 93.8%	400 301 75.3%	400 305 76.3%	300	300

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	10	項	06	目	01	大事業	中事業	予算上の事業名					事業番号	
	一般会計		教育費		社会教育費		社会教育総務費	18	01		文芸選奨推進事業費					06030	
予算(千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比	決算 (千円)	1 年度 実績	2 年度 実績	3 年度 実績	4 年度 見込	5 年度 見込	前年比				
国庫支出金							国庫支出金										
県支出金							県支出金										
町債							町債										
その他特財	120	120	120	100	100		その他特財	138	115	112	100	100	-3				
一般財源	547	667	607	624	624	-60	一般財源	102	624	548	650	650	-76				
合計	667	787	727	724	724	-60	合計(A)	240	739	660	750	750	-79				
財源名称	香々美川文芸選奨応募料						従事正職員人数	1	1	1	1	1					
							延べ業務事務時間	170	170	170	170	170					
							人件費計(千円)(B)	595	568	570	582	582	1				
	最終予算額		727 千円		予算執行率		90.7%		トータルコスト(A+B)		835	1,307	1,230	1,332	1,332	-78	
主な 支出事業内容 (予算)	報償費				293 千円				主な 支出事業内容 (決算)	報償費				270 千円			
	需用費 印刷製本費				295 千円					需用費 印刷製本費				281 千円			
	需用費 消耗品費				94 千円					需用費 消耗品費				70 千円			

事業番号	06030	事務事業名	文芸選奨推進事業費	所管課名	生涯学習課
------	-------	-------	-----------	------	-------

#### 4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
学校の協力により、鏡野万葉のみち青少年文芸選奨の応募者が増えているが、先生によって応募数の変動がある。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
小中学校の国語の先生に指導をお願いしている。短歌・俳句・川柳の結社にお願いして募集要項を配布してもらっている。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?
町内の文芸愛好者は事業の継続を望んでいる。

#### 5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	<b>理由 説明</b>	生涯学習の推進と地域文化の継承に必要である。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せるとはできないか?)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	<b>理由 説明</b>	創造豊かな教育と文化の里づくりのために、町民の誰もが参加できる事業としてふさわしい。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<b>理由 説明</b>	小学生から高齢者まで、すべての年齢層を対象にしており、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	<b>理由 説明</b>	万葉のみち青少年文芸選奨は小中学校の協力が必要。香々美川文芸選奨は町内の応募者が少ない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	<b>理由 説明</b>	鏡野町は、短歌・俳句・川柳といった文芸の盛んな町であり、地域の文化的な特徴を若い世代に継承してもらおうと働きかける唯一の事業である。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	<b>理由 説明</b>	若い世代の文芸愛好者を増やすこと。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由 説明</b>	出来るとすれば、審査員の報酬、賞金・副賞の削減だが、実際は不可能である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	<b>理由 説明</b>	文化協会の自主事業として、補助金交付事務だけで済ませば事業費の削減は可能だが、文化協会役員、会員の高齢化のため不可能である。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	<b>理由 説明</b>	香々美川文芸選奨の応募者から、応募料を徴収しており公平である。

#### 6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果	② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																						
A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	万葉のみち青少年文芸選奨の応募は増加しているが、香々美川文芸選奨の町内の応募者が少ない。																						
B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																							
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	④ 担当課としての事業の方針																						
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<p style="text-align: center;">今後の改革改善案</p> <p>香々美川文芸選奨の町内からの応募者を文化協会を通じて増やしていく。学校に夏休みの宿題として万葉のみちの作品をするようお願いをする。</p>																						
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
応募条件として大賞を受賞した者はその部門に応募出来ないため、文化協会会員で受賞している者が応募できない。また、応募している者は毎年応募していて新しい人があまりいない。																							